

平成24年度 第1回社会教育委員会議 会議録

平成24年5月30日（水）13時30分 庄内町役場立川庁舎「大会議室」に社会教育委員を招集し、社会教育委員会議を開催。

1. 出席した委員は次のとおり。

富樫良秋、齋藤良一、菱谷光男、椎名和美、佐藤富美、石井玲子、井本美和子、志田征子、田澤啓二、志田啓子、廣田幸記、今野美恵子。

2. 欠席した委員は次のとおり。

佐藤啓子、秋葉俊一

3. 出席した職員は次のとおり。

社会教育課長本間俊一、課長補佐阿部勉、主査兼社会教育係長佐々木弘喜、主査兼図書館係長本間洋子、スポーツ推進係長高田謙、社会教育係主任我妻則昭

4. 会議の次第は次のとおり。

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事録署名委員の指名
- 4 協議
- 5 その他
- 6 閉会

5. 協議事項は次のとおり。

- (1) 平成24年度 庄内町の社会教育基本方針等について
- (2) 平成24年度 社会教育・社会体育関係団体補助金（交付金）について
- (3) 平成24年度 社会教育委員活動予定について
- (4) その他

6. 会議の内容は次のとおり。

13時30分開会

社会教育課長 開会

富樫議長よりあいさつをお願いします。

富樫議長

皆さん今日は。やっと気圧のほうも安定したようで、竜巻とか突風の心配が無くなったようであります。お天気も良いところで、さわやかな気持ちで参加し、参加していただきありがとうございます。

課長さんも新しくなりましたし、余目中学校の校長先生も新しくなりました。新しいメンバーを加えて、平成24年度第1回目の委員会を開くわけでございます。課長さんからお話がありましたように、社会教育委員の役目はすごく重大なものがあります。社会教育全般にわたって指導助言ということがあるわけですので、我々もうんと勉強していかないと大変だと思います。今年は、勉強する機会が増えるのではないかと前もってお話をさせていただきます。ただ今から第一回目の社会教育委員会議を始めたいと思います。

社会教育課長

4月1日で異動した職員から自己紹介させていただきます。

(高田スポーツ推進係長自己紹介)

社会教育課長

(出席していない異動した事務局職員を紹介。)

富樫議長

議事録署名委員については井本美和子委員、廣田幸記委員をお願いします。

富樫議長

協議の方に入ります。平成24年度庄内町の社会教育基本方針等について、事務局の説明をお願いします。

課長補佐

(平成24年度庄内町教育委員会の重点と施策等を資料により説明。)

佐々木主査

(社会教育係事業概要等を資料により説明。)

高田係長

(スポーツ推進具体的施策等を資料により説明。)

我妻主任

(文化創造館運営計画等を資料により説明。)

課長補佐

(資料館運営計画等を資料により説明。)

本間主査

(町立図書館運営計画等を資料により説明。)

佐々木主査

(中央公民館運営計画等を資料により説明。)

富樫議長

社会教育の基本方針から始まって中央公民館まで来ましたので一端ここで区切りたいと思います。質問、ご意見がありましたらお願いします。

富樫議長

図書館の耐震化は、建物は心配無いのですか。

本間主査

図書館の建設計画があり、耐震診断等の予定は無い。昭和53、54建築であり心配はあるが、建設計画があるからと思っている。

佐々木主査

今ありましたように、町全体の施設の耐震の整備計画を立てる段階で、図書館については新しく建設するという前提がありましたので外れている。

富樫議長

建設の計画はあるようだが、課長さんどうですか。

社会教育課長

交付税の10年間の合併特例があつて、それが延長されるという話が合ったが国会の状況もあり議決されていない。町の大規模事業計画も決められない状態で進んでいると聞いている。共同調理場の検討も途中でとまっている。多額の資金を要するので順番にやっつかざるを得ない。

富樫議長

図書館協議会でも話は出ていると思うが、どんな状況か。

本間主査

平成21年度に図書館協議会が発足して、図書館建設の場所については諮問を受け答申しましたが、その後は何も進んでいない。

富樫議長

第二小学校、第四幼稚園でも耐震の工事が進んでおり、図書館はと思っている。お金は掛かるが耐震診断をお願いしたい。

佐々木主査

昭和56年に構造基準が変わっており、それ以前の建物ですと耐震性は出ない。強さによっては、補強という具合の結果は出るが、耐震の基準は満たしていない。

社会教育課長

この立川庁舎も昭和54年建築であるが、町としては、緊急性から優先順位を考えて学校、幼稚園、保育所は先にしなければならないことで耐震改修が出来るものからやって来た。社会教育サイドの大規模事業も第二屋内多目的運動場、八幡スポーツ公園と進めてきており、要望をしているが実現には至っていないのでご理解をお願いしたい。

富樫議長

理解はできるが、知恵を絞って取り組んでほしい。皆さんどうですか。

委員

図書館を利用したいが、靴を脱がなければ入れない、間口が狭い等の要望がある。本を借りたいんだけどちょっと面倒なので、車で酒田、鶴岡に行ってしまう、そういう話が聞こえてくる。事業計画も色々あると思うが、図書館建設は前から総合計画に謳われる事業であるので、図書館に入りやすい、見やすい環境づくりをしてほしい。

社会教育課長

借りるのがちょっと面倒という話が、建物の構造上の問題であればむしろかしいが、ソフト的にこうやってもらえれば使いやすいのにとということであれば対応して行きたい。

本間主査

図書館の来館者が減少しており、ソフト面でのサービスをいかに向上できるか考えながらやっている。図書館に来ていただいて、気づいた所を教えてください。

社会教育課長

こんなことをやれば利用率が上がる等、なにげない事が非常に重要なことがよくあるし、想定した事がネックになったりして、簡単に直せるところがそうでもなかったりするのです、色々と教えていただけたらと思います。

富樫議長

図書館の関係でご意見ありませんか。

委員

図書館が近いこともあり家族が二週間ごとに利用していて、3人で20冊ぐらい借りてくるがそんなに時間も掛からず帰って来る。借りるのに面倒なこともなく、重い全集等楽しんで借りている。

委員

図書館から借りた本を期間内に返せなかった事があったので、立谷沢・清川公民館に返せるシステムにしてほしい。

本間主査

狩川公民館は図書館分館であり、返却ポストもあり問題ないが、応用を利かせて立谷沢・清川公民館でも返せるシステムにはしてあるが、申し送りが不十分で、申し訳ございませんでした。

富樫議長

公民館に返してもいいのですね。

委員

清川公民館は応用的にやっているということですが、貸し出しして返しやすいシステムを作ることで、公民館に返せる事をはっきり決めておいた方が借りやすくなるわけで、簡単にできることではと思います。スリッパで入ることはある意味致命的、非常に不便だと思います。今こうだからしょうがないと思えば改善しない訳で、そのへんを含めてやっていく必要があると思います。昔、余目の図書館は一人あたりの貸し出し冊数が日本一だった事もあったわけで、そのへんも含めてやっていく必要があると思います。

富樫議長

図書館のほうで十分検討してください。

委員

子供達の読み聞かせで、各学校でボランティアの方々が増えているとは聞いているが、町内全体で各学校でのバランス的なものではないですか。

本間主査

第四小学校にも読み聞かせサークルの「フクブクロウ」というグループが出来ました。余目のすべての学校、立川小学校には狩川の「風花ボンティア」と清川の「フキノトウ」がありますし、全部の学校に読み聞かせの方々が参加してやっている。やり方は経験年数もあり差はありますが、それぞれ芽が出て育っている状況で、図書館、学校がどんな支援ができるのか、手だてを考えている。子どもの読書の輪が広がって、立川小学校では今年、読み聞かせで文部科学大臣賞を戴だしている。コーディネーター学校支援事業を活用して各学校に配属されている。本と子どもたちを結ぶ、地域と学校を結ぶコーディネーターの役割が大きいと捉えている。

委員

それぞれの各学校に組織があり、ボランティアの方々は制限される時間の中で頑張っているようだ。

本間主査

学校でも、地域の方々から入ってもらうのはありがたいと受け止めている。

富樫議長

他にありませんか。

委員

15 ページに競技スポーツの推進、ジュニアの競技力の向上を目的とした各種大会の開催とあるが、各種大会は増えていくのか。

高田係長

体育協会に加盟している各種各スポーツ団体、例えば卓球であれば、卓球協会が主管して行っている大会です。競技団体の考え方次第では、増えていく可能性はある。

委員

ここにある競技だけではなくて、色々な種目があり、競技力の向上を目的として、載ってくる可能性はあるのですね

高田係長

予算対応できるかという問題もあり、体育協会では各競技団体1大会を上限にしている。競技力の向上を目的として、掲載していくことは可能です。

委員

大会の期日が気になっている。種目が増えた場合、大会の時期は決まっていて、学校や地域の行事と重なる場合があり、学校行事に参加できないことがあったので、どういう方針なのかと思った。

委員

関連して、庄内町がこんな形で、大会を体育協会や競技団体主催でやってくれていることはありがたいが、同じように各市町村、県外も含めて招待試合を開催するものですから、部活動で招待されると県外までもどんどん出て行く状況が、中学校で非常に問題になっています。土曜日、日曜日、休みなく大会が出て来ている、中体連の大会は、総体と新人戦、それに伴っての県大会、東北大会等、それ以外の競技団体主催の大会が非常に増えている。庄内町で伝統的にやってくれていることは大変ありがたいことで、それは別にして、問題になっているのは大会が増えて、それに出る、出ない、なかなか招待されると出ない訳にもいかない。保護者、外部指導者の意向があつて出る。顧問はなかなか断れないこともあり、休めない。そんな状況があることを知って置いていただきたい。外部指導者を町から委嘱してもらいやっているが、部活動コーチの仕事の都合もあり、どうしても夜間の練習が非常に多くなります。部活動ではなく、夜間の時間帯についてはクラブとして学校教育から離れた形で実施する。保護者会主催と言ったり、クラブと言ったり、中にはスポ少と言ったり、形のはっきりしたものが何も無くて、是非、社会体育、社会教育の方で中学校スポーツクラブとか体協主催の中学生スポーツ教室のような形で実施してもらおうと、学校の部活動とは違うんだということが出てきますので是非社会体育として練習会をやりたいと思っています。

富樫議長

では事務局の方でよろしくお願いします。

社会教育課長

なかなか難しい問題と思います。

委員

地域によっては体協主催の中学生スポーツ教室として、もっと一般的に広く年間を通してやっている。部活動に入っている人に限らず、土曜日、日曜日にやっているのはいっぱい

あるわけで、そのような形で週2回夜7時から9時とかやれば出来なくはない。あるいは、総合型スポーツクラブの中に中学生部門として位置付けるのも可能では。

社会教育課長

色々な形を組むことによって、クラブ活動の回数が増えていくと勉強時間が無くなり、誰が歯止めを掛けてくれるのか心配がある。

委員

部活もクラブも親にしてみると感覚的にちょっとおかしいと感じている。1回しかない部があって、後はほとんど夜間ですと。クラブは一応参加は任意ですが、行かない訳にもいかない現実があり、はっきりと社会体育で「任意です」と言う部分もあっていいのでは。縛りをきちんと社会教育で学校と連携しながら、夜の練習は週2回、2時間とか指導していく社会教育でも、学校と連携しながらやって行けばいいのかなと思っています。部活動連絡会の中でも、基本的に夜間の練習は週2回、2時間という押さえを、学校の方からお願いしたが、それを社会体育、組織として作ってもらえばお願いできるのでは、お互いに連携してと、思っている。

社会教育課長

強くなりたいと言うのは子供も指導者も熱意として理解できるが、学業との連携が損なわれているとかがあれば、難しい問題でありますので、教育長と相談させていただきます。

富樫議長

他にございますか。なければ次に進みます。公民館の方の説明をお願いします。

課長補佐

(余目第一公民館の運営計画・事業概要から立谷沢公民館運営計画・事業概要等を資料により説明。)

佐々木主査

(大中島自然ふれあい館運営計画を資料により説明。)

富樫議長

それではご意見がありましたらお願いいたします。

委員

説明の中で、情報の第三公民館とあったが、他の公民館にも特色があるのか教えてほしい。

課長補佐

第一公民館については視聴覚で映画鑑賞会が行われています。第二公民館は陶芸で、陶芸の窯が設置されています。第三公民館はパソコン教室が開催されています。第四公民館については、亀ノ尾の里資料館と併設し歴史民俗と特徴を持たせている。

委員

高齢者の生涯学習に松寿大学があるが、余目は栄寿大学ですが、生徒が年々減っている。10年前は280人ぐらい、今年は130名弱で毎年減ってきている。高齢者の交流の場、親睦の場に関心になれている。老人クラブは社会福祉協議会の傘下であるが、集落単位で組織しているが連合会に入っているのは3割、7割が独自の運営になれている。70才でもまだ若いと入らない、親しみやすい組織にはなれているが高齢者の生涯学習が進歩しておりませんので、皆さんのお知恵を拝借したい。

富樫議長

切実な問題です。良いお知恵はありませんか。

委員

栄寿大学の募集で、組織に入っていない人で栄寿大学に入りたい人もいるだろうと二次募集をしてもらったが増えない。部落会長とか老人クラブの会長さんに通知を差し上げていると思うが、その方々の理解度だと思う。まだ現役だという人もいる、今それどころではないという人、老人クラブという名前が悪いという人など様々な理由はあるが、よく絆とか言われるが、地域の人達との繋がりを深めていくのが肝心だと思う。70才以下の人はスポーツや趣味等、楽しいことだけしていれば良いという考えを持っており、どんな指導をしても難しいと感じている。それで、老人クラブの会員になっていない方で、参加したい人をどう拾い上げて行くかに力を入れていかないと、老人クラブに頼っても仕方がない。組織づくりを集落でどう進めるか考えていかないとならない。

委員

役員をやらされるのがいやだという人もいる。三ヶ沢は戸数140戸で30人がはいつているが、馬場は100戸で3人しか入っていない。

本間主査

集落の風土や形成、いままで築き上げてきた雰囲気があると思う。何事にも一生懸命で、高い意識を持っている人が多いと思う。

委員

せっかくここまで蓄積したものが途切れてしまっては。

社会教育課長

クラブ活動が組織できないほど高齢化している。また意識が替わって来ている。最近の著しい減少の原因が何なのかを調べたい。60歳以上を一つの年代に区切って高齢者事業をやるのも難しくなっており、係長会議で検討を進めたい。

富樫議長

よろしく申し上げます。他にございませんか。

委員

ひとつ前の質問に関連して戻るのですが、昨年の会議でも外部評価の先生から余目地区の公民館については1、2、3、4それぞれ特色が出されましたけれども、立川地域については「など」の2文字でひとくくりにされて、今回事務局の説明でも狩川地区は出ませんでしたので事務局としてどうお考えなのか、あげられるような物が無いとすれば公民館の位置付けとして何かの特色を作っていかなければと考えまして、事務局の考えを伺いたいと思います。

富樫議長

事務局お願いします。

社会教育課長

余目地域は平成2年から6年頃にかけて、色々な公民館を4つの公民館に集約した時に、意図的にそれぞれの公民館に特色を持たせた施設整備をして作った。立川の公民館はそれぞれの地域の公民館というコンセプトは持っていたが特色は無かった。狩川公民館については中央公民館として、スペース、図書室、ホール、ステージ等の機能はある、今はパソコンが常設され、特色となっている。清川公民館は楽焼き、立谷沢公民館は和太鼓が特色だと思っている。行政が押しつけるものではなくて、地域から湧き出て来る物がよいと考えており、地域の皆さんがこういうことを公民館で中心にやっていきたいという希望があれば育てていきたい。

委員

合併して7年、8年経っていますので、旧立川地域が「など」とか2文字でくくられて、非常に寂しい。今まで何もやってこなかったのではなくて、あるんだということをちょっと主張したかった。

社会教育課長

第一公民館の特色である視聴覚は、DVDの時代となり16ミリフィルムを皆で見る時代ではなく、悩みどころに来ている。第四公民館については成人大学講座で歴史的なものを中心にやっているしハード的に資料館はあるが、特色のあるものと言えるかということもある。第二、第三公民館については町民大学講座と、公民館の特色を活かした事業が同じになっていて、事業の重複ではないかと思える。公民館の特色を活かした成人大学講座として包含したらどうかと勧めている状態もあります。

委員

公民館運営事業の中に備品整備があるが、各公民館から要望がだされて計画されると思うが、第四公民館のマイクの具合が悪く、要望が出ていなかったら第四公民館と連絡を取り合ってお願いしたい。

佐々木主査

接触不良と思われるが、公民館予算に修繕料もありますので、対応したいと思います。尚、地域づくり団体を対象にコミュニティ助成事業があつて備品購入が各地区回りでできる宝くじ事業もあります。

富樫議長

他になかったら次に進みたいと思います。平成24年度社会教育・社会体育関係団体補助金（交付金）について説明をお願いします。

課長補佐

（平成24年度社会教育・社会体育関係団体補助金について資料により説明。）

富樫議長

説明いただきました。質問等ありましたらお願いします。無かったら次に進みたいと思います。社会教育委員の活動予定について説明をお願いします。

課長補佐

（平成24年度社会教育委員活動予定について資料により説明。）

富樫議長

予定をお願いしたいと思います。質問等ありましたらお願いします。無ければ次のその他に入ります。あいさつ運動の説明をお願いします。

課長補佐

(あいさつ運動について資料により説明。)

富樫議長

笑顔プロジェクト説明いただきましたが、いかがですか。各施設でも応援していただき、この運動がうまく進むようにお願いします。教育長が見えましたのであいさつをお願いします。

教育長

遅くなりまして申し訳ございません。庄内町の先生方を中心に授業研究をやって来ました。この研修は、教育委員会の重点と施策にある「子ども一人一人を生かす学びづくり」を具現化した授業です。何を目指しているかと言うと、担任力の向上と授業改善をねらった授業です。学びあい、自分なりの考えを持たせる授業づくりに、庄内町の先生方が取り組んでいる。庄内町の子ども像を目指すためには、授業で大事な自分なりの考えを持つことと、学びあって高まりを実感できる授業を作って行かないと子ども像に迫れないことで重点にした。何をやるかという教育委員会の重点を箇条書きにして、今年度こんなことをする考え方をまとめたのが重点と施策です。あいさつ運動がでましたが、一番下に共通として学校教育と社会教育で育てるあいさつ運動、早寝・早起き・朝ごはん運動、読み聞かせ運動、環境の町ですので、電気・水等節約運動を分かるように表現した。

社会教育の中では、老人クラブの参加が少なく困っている生涯学習の在り方ですが、「一人一人の学びの機会を充実したいいきがづくりの推進」の中に組み込んでいる。「町の生涯学習体制の見直しと重点化」を出しているが、担当がどう捉えて、考えてどう進めるのかお願いをしている。具体的にどこでやるか考えると、一番に「庄内町らしい社会教育の効果的な施設と組織体制づくり」があり、その下に「社会教育委員会議のあり方」があり、「機関の長、係長会議の充実」とあります。課長の答弁にありましたが、老人クラブの課題は係長会議で検討して提案する考え方です。やり方として社会教育委員会に諮問する方法もある。そう言う仕掛けをしていきながら社会教育、学校教育の充実を図りたい考えを整理したのが、この重点と施策です。教育の長期振興計画がまだ無いのでそれまでこの重点と施策でやって行きたい。社会教育委員の考えが町の方向を決める大事な役目でありますのでどうぞ力を貸していただきたい。

富樫議長

次に社会教育課長からお願いします。

社会教育課長

(社会教育主事の説明、響ホール・総合体育館・公民館の指定管理者制度導入の状況を説明、社会教育施設等の耐震化、修繕の取り組みを説明、ボランティア活動の取り組みを説明)

教育長

今のような課題は社会教育委員会にかけて行かないと社会教育委員会の意見にならない訳で、事務局の意見になってしまう。皆さんの考えが教育委員会の考えになるようにしていきたい。

委員

公民館の今からのことなんですが、地域づくり会議と話し合われて、ここは指定管理者がやって、ここは違うということもあり得ると思う。いまから長期的な教育振興計画もつくらなければという話もあったので、最終的に社会教育は学校教育をも網羅する大きな教育と思っている。社会教育を、どこを拠点に地域に広めていくのかについても見落としとしてはいけないと思う。

社会教育課長

社会教育の推進は誰がするのか、地域に任せっきりで町は知らないふりでいいのかということになる。地域づくりの拠点としての公民館という考え方を次回にお話させていただきます。

教育長

公民館を統括する中央公民館的なものが無いわけで、教育委員会が兼ねている。その辺も課題と思っている。

富樫議長

その他ありますか。

課長補佐

(庄内町の歴史点描の発刊について説明)

富樫議長

これで会議を終了します。

社会教育課長 閉会 17時5分 閉会